Tokina 使用説明書

AT-X 16-28mm F2.8 PRO FX
AT-X 17-35mm F4 PRO FX

FX series

トキナーFXレンズは、フルサイズ固体撮像素子専用レンズです。

株式会社 **ケンコー・トキナー**

本　　社　〒161-8570　東京都新宿区西落合3−9−19
■東京営業所 TEL 03(5982)1060(代)　■広域販売部 TEL 03(5982)1068(代)　■光機営業部 TEL 03(5982)2161(代)

大阪営業所　〒540-0005　大阪市中央区上町1−2−13
■大阪営業所 TEL 06(6767)2640(代)　■大阪販売課 TEL 06(6767)2652(代)　■大阪光機課 TEL 06(6767)2648(代)

名古屋出張所　〒460-0008　名古屋市中区栄1−15−6 サカエミヤシタビル1F
TEL 052(232)3331(代)

札幌出張所　〒060-0042　札幌市中央区大通西15丁目1−11 北日ビル405号
TEL 011(613)2176(代)

仙台出張所　〒980-0011　仙台市青葉区上杉3−3−21 上杉NSビル2F
TEL 022(211)0180(代)

福岡出張所　〒812-0011　福岡市博多区博多駅前3−12−3 玉井親和ビル1−H
TEL 092(476)5071(代)

■保証書について

この製品には保証書がついています。お買い求めの販売店で、お名前、ご住所、ご購入店名、ご購入日など所定の事項を記入した保証書を必ずお受け取りください。
保障期間内の故障の修理には、保証書が必要です。大切に保管してください。

本説明書では、危険をその内容、程度に応じ、次の2種類に分けています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があります。また、物的損害が発生する可能性があります。

本説明書では、次のような絵表示を使用しています。

- △は、注意が必要な内容があることを示しています。図の中に描かれているのは注意の内容です。（左図は発火注意）
- ⃠は、禁止を示しています。図の中に描かれているのは禁止の内容です。（左図は分解禁止）
- ●は、指示を示しています。図の中に描かれているのは指示の内容です。（左図は注意する旨の指示）

■レンズ安全上のご注意

安全のため、ご使用前には必ずこの「■レンズ安全上のご注意」をよくお読みになり、それぞれの注意事項をお守りください。

⚠ 警告

⃠ レンズで直接太陽をのぞかないでください。
失明の原因となります。

⃠ レンズは幼児の手の届くところには置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。
また、ストラップが首に巻付くと、窒息するおそれがあります。

⚠ 注意

● レンズをカメラに装着する時は、レンズをカメラに正しくセットし、きちんとロックされたことを確認してください。
正しく装着されていない場合、はずれて落下しケガをしたりするおそれがあります。

⃠ 日光が直接当たるところにレンズを置かないでください。
△ レンズによって近くの物に集光し、火災が発生するおそれがあります。

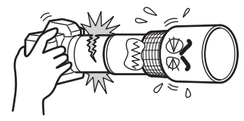
⃠ レンズを付けたカメラで、太陽や強い光源を直接見ないでください。
視力障害の原因となります。

物的破損を発生させないため、ご使用前には必ずこの「■レンズ取り扱い上のご注意」をよくお読みになり、それぞれの注意事項をお守りください。

⚠ 注意

● レンズをカメラに装着する時は、レンズをカメラに正しくセットし、きちんとロックされたことを確認してください。
正しく装着されていない場合、レンズがはずれなくなったり、はずれて落下するおそれがあります。
レンズは精密機械です。扱いには十分ご注意ください。レンズに強い振動や衝撃、あるいは圧力を加えたりしますと、精密に調整された部分に故障が発生します。落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。

⃠ カメラに装着したレンズに無理な過重をかけないでください。
● レンズおよびカメラ側のマウント部分が損傷するおそれがあります。大型のレンズはマウント部分に負荷がかかりやすいので、操作時や移動時には必ずレンズを持つようにしてください。



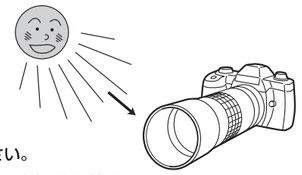
⃠ オートフォーカス作動中はフォーカスリングの動きを妨げないでください。
また、AFモード時にフォーカスリングを無理やり手で回さないでください。レンズやカメラ内部機構に無理な力がかかりレンズやカメラを破損させる原因となります。絶対におやめください。

● 長期間使用しないときや、結婚式や海外旅行など大切な写真を撮る時には、必ず事前にレンズをチェックしたり試し撮りをしたりして、失敗を防ぐようにしてください。
レンズは精密機械ですから、定期点検（1〜2年に1度程度）あるいはオーバーホール（3〜5年に1度程度）をお勧め致します。なお、定期点検等は当社のサービス機関、またはお買い上げの販売店にご依頼ください。

⃠ レンズを改造、変造しないでください。レンズやカメラの故障の原因になります。改造、変造したレンズはサービスセンターでの修理が受けられない場合があります。
また、ゴミや泥、砂、ホコリ、水、有害ガス、塩分などがレンズの中に入ると、故障の原因になりますからご注意ください。
一般に電気系のトラブルは、接点部の汚れやゴミが原因になる場合が多いものです。電気系の不具合と思われる現象が発生した場合は、カメラ側の接点やレンズ側の接点に手油などによる汚れ、塩分や特殊ガスなどによる腐食、あるいはゴミなどがついていないかチェックしてみてください。汚れやゴミを取り除いても不具合の場合は当社のサービス機関で点検をご依頼ください。
※シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

⃠ このレンズは防水機構になっておりません。
水没させないようにご注意ください。
水没品は、ほとんど修理不能になりますので、取り扱いに十分ご注意ください。
レンズ本体やレンズ面に水滴や泥、砂などがついている時は水滴をぬぐい、砂などをブロアーなどできれいに落としてから静かにレンズをカメラからはずし、さらに、マウント側の水滴をぬぐい、泥、砂などもブロアーなどできれいに落としてください。とくに海辺などで使用した後は、塩分が残らないように十分拭いてください。
水滴などがついたまま放置しますと、毛細管現象により水がレンズ内部に浸み込んでいき故障の原因になりますのでご注意ください。

有害光線を除去するために、
レンズフードを装着して
撮影してください。
※ ストロボ使用時、フードによるケラレが発生する場合は、外付けストロボを使用してください。



スキー場のゲレンデとロッジなど寒暖の差のはげしい所で使用しますと、温度差によって結露が生じ故障の原因となり、修理不可能になるか修理費用が多くかかることになりますのでご注意ください。バッグなどに入れてできるだけ温度変化を緩やかにして、温度差がなくなってから取り出すようにしてください。

レンズを40℃以上の高温下、あるいは－10℃以下の低温下の場所に長く置きますと、ボディが変形したり、ICの誤作動などにより正常に作動しない場合がありますのでご注意ください。

レンズを外したときは、電子接点およびレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置いてください。
レンズを使用しない時は、必ず前と後のキャップを付けてください。レンズ面に傷がついたり、電子接点が腐食したり、連動ピンが曲がったりして、作動不良をおこす原因となります。
レンズ面には直接指でふれないでください。レンズ面についた汚れは、市販のレンズクリーナーをご使用ください。クリーナーで拭き取るときは、レンズ面の中心から外側に渦巻き状に拭いてください。

⚠注意

●当社以外で分解・改造されたもの、あるいは保存上の不備または誤った使用による故障、落下衝撃による故障、浸・冠水、砂入り品などは保証期間中であっても修理は有料となります。また、損傷が著しく製品の性能復元ができかねる場合、修理不能となることがありますのでご了承ください。

●万一故障などした場合は、レンズをご自分で修理しないでそのままの状態で、保証書とご一緒にお買い上げ店か当社のサービス機関までお持ちください。なお、故障の状態によっては、その際メディアやフィルムなどを添付して頂くと、修理作業の参考になります。

●保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

●お取り扱い上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水かかり、砂・泥の付着、レンズ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、お手入れの不備（カビ発生など）により発生した故障は有料修理または修理不能になる場合があります。

●当社製品の補修用性能部品は、5年間を目安に保有しております。したがって、保証期間中は原則として修理をお受けいたします。なお保有期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げ店か当社のサービス機関にお問い合わせください。

●本製品の故障に起因する付随的障害（撮影に要した諸費用および撮影により得られる利益の損失など）については、補償いたしかねます。

●本製品は写真撮影のための製品であり、それ以外の使用目的で使用された時の故障および付随的障害については、ご容赦ください。

■レンズのマウント仕様変更はできません。

● 各部の名称

❶ フード取り付け指標
❷ マニュアルフォーカスリング
❸ 距離目盛
❹ 距離目盛指標
❺ ズームリング
❻ 焦点距離目盛
❼ センター指標
❽ AFポジション
❾ MFポジション

16-28mm F2.8 PRO FX
TO FIT NIKON Digital

17-35mm F4 PRO FX
TO FIT NIKON Digital

● レンズ着脱方法

レンズの着脱は、カメラメーカーの使用説明書にしたがって着脱してください。
■着脱の際にはレンズの取付け面の電子接点に触れたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。

● ピント合わせ

ピント合わせは、カメラ側のモードがオートフォーカスモードのときは、カメラが自動的にピント合わせをおこないます。マニュアルフォーカスモードのときは、ファインダーを見ながらマニュアルフォーカスリングを回してピントを合わせてください。
このレンズは、フォーカスエイドによるピント合わせもできます。
※ニコンフィルムカメラでは、「F6・F100・F80」のみオートフォーカスが作動します。他のニコンフィルムカメラではマニュアルフォーカスでご使用ください。

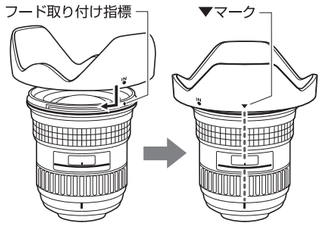
● 露出モード

露出モードのセットはカメラの使用説明書にしたがってください。

● フード

レンズフードは斜め前方や側方からの強い光が直接レンズに入って、写真にフレアーやゴーストが入るのを防ぐためのものです。鮮明でスッキリした写真を写すためにも、またレンズの保護のためにも、ぜひレンズフードをご使用ください。
※デジタル一眼レフカメラの固定撮像素子は銀塩フィルムと異なり、反射が大きいため、特にワイド系レンズは室内でも必ずレンズフードを装着することをお勧めいたします。

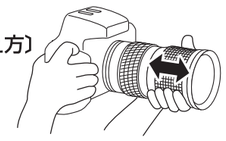
〔フードの取り付け方〕
【*AT-X17-35mm F4 PRO FX*】
フードの IN ● マークをレンズのフード取り付け指標（●）に合わせ、前方より見て右回りにクリックが確実に入るまで回転させ取り付けます。
このとき、フードの▼マークとレンズのセンター指標が一致していることを確認してください。



フードの着脱は、フード先端を強くつかみますと、着脱が困難になりますので着脱の際は、フードの根本（取り付け部分）付近を持って行ってください。
フードは、レンズの先端に逆に付けて収納できます。
※フードを取り付けるとき、「カチッ」と音がするまで、最後までしっかり回し確実に取り付けてください。フードが正しく取り付けられていないと画面がケラレる場合があります。

● ワンタッチ・フォーカスクラッチ機構

〔AFポジションからMFポジションへの切り換え方〕
AFポジションとMFポジションへの切り換え方は、どの位置でもマニュアルフォーカスリングを前後にすることにより切り換えられます。



※ニコンマウント、キャノンマウントは、カメラボディ側およびレンズ側のフォーカスモードスイッチをMFポジションにすることなく、マニュアルフォーカスが使用できます。AFポジションではマニュアルフォーカスリングの回転はフリーとなります。

● 内蔵ストロボ使用の注意

内蔵ストロボを使用して撮影しますと、レンズによって内蔵ストロボの光が一部さえぎられ、画面にレンズの影が大きく写り込むので、外付けストロボを使用してください。

● ストロボ撮影（赤目現象）

人物をストロボ撮影すると被写体の目が赤く写ってしまうことがあります。これを赤目現象といいます。赤目緩和効果については、各カメラメーカーの使用説明書にしたがってください。

● フォーカスリングの回転方向

フォーカスリングの回転方向は、ニコン純正・キヤノン純正レンズとそれぞれ同方向です。

※レンズを軽く振った場合レンズ内部より音がする機種がありますが、これはフォーカスリングの作動を円滑にするためのボールベアリングの音ですので一般作動には問題ありません。

■性能表

機　種	AT-X16-28mm F2.8 PRO FX	AT-X17-35mm F4 PRO FX
焦点距離	16-28 mm	17-35 mm
明るさ	F2.8	F4
フォーマット	24x36mm　デジタル専用フルサイズ	
最小絞り	F22	
コーティング	多層膜コーティング	
レンズ構成	13群15枚	12群13枚
画　角	107.11°～76.87°	103.96°～64.74°
フィルターサイズ	装着できません	82 mm
最短撮影距離	0.28 m	0.28 m
マクロ最大倍率	1:5.26	1:4.82
フォーカス方式	フロントインナーフォーカス	
絞り羽根枚数	9枚	
最大径	90.0 mm	89.0 mm
全　長	133.3 mm	94.5 mm
重　量	950 g	600 g
フード	固定花型フード	花型フード BH-821

※ CE（ヨーロッパ輸出検査適合マーク）本体内部に、電子部品が入っているものに入れられるマークです。
※ ニコンマウントの仕様データです。
仕様や外観は製品改良のため予告なく変更する場合もありますのでご了承ください。